

ガスふる給湯器

パツクイン

外壁貫通設置形

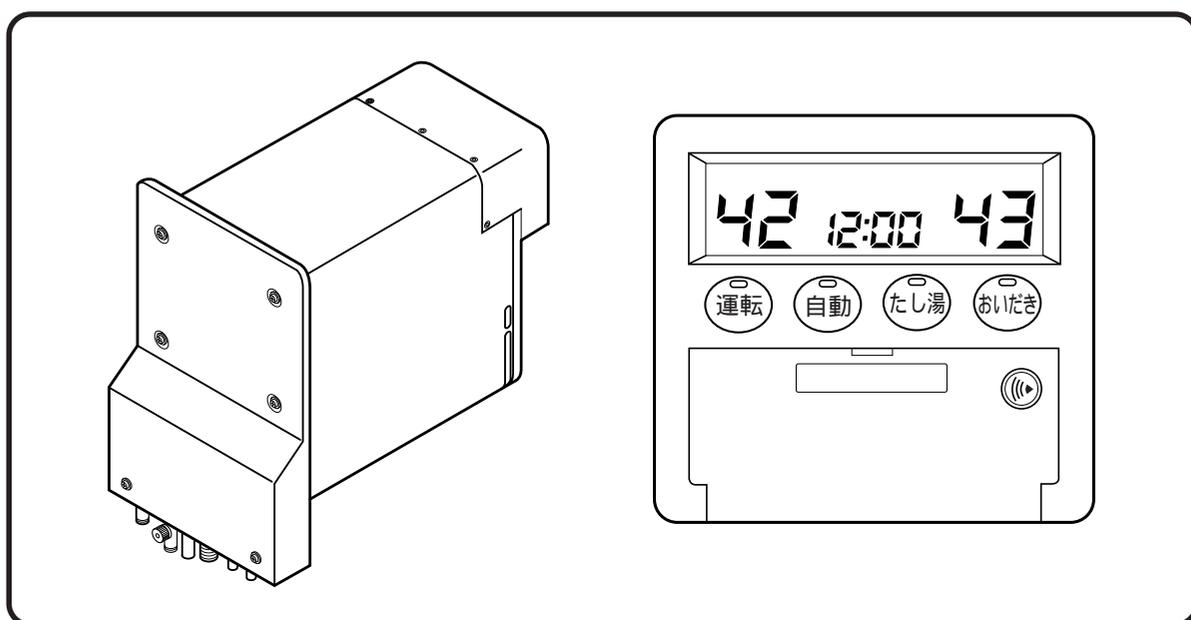
1 3 1 - 7 0 0 9 型

1 3 1 - 7 0 1 9 型

1 3 1 - 7 0 2 9 型

型式名 WF - 1 6 1 1 A T - 1
WF - 1 6 1 1 A T - C - 1
WF - 1 6 1 1 A T L

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

 大阪ガス

特長・機能の紹介

- 1 スイッチポンでお風呂が沸かせます。
 ふたをして (自動) スイッチを押せば、あらかじめ決めておいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。



(自動) スイッチを押してから約4時間以内なら、お湯がさめれば自動で保温し、お湯が減れば自動で足し湯します。

- 2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。
 リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37 ~ 60 まで設定できます。

目次

特に注意していただきたいこと	1~4
各部の名まえとはたらき	5~7
使用方法	
・初めてお使いいただくときは	8
・時計時刻の合わせかた (時計の時刻を合わせたい)	9
・表示消灯機能 (リモコンの表示を消したい)	10
・お湯の出しかた (浴室リモコンでの操作)	11~12
・お湯の出しかた (台所リモコンでの操作)	13
・自動運転 (ふろの自動お湯ほりをしたい)	14~16
・おいだき運転 (ふろのおいだき・沸かし直しをしたい)	17
・足し湯運転 (ふろのお湯の量を増やしたい)	18
・ぬるく運転 (ふろのお湯を少しぬるくしたい)	19
・かま洗淨運転 (ふろ釜内の残り湯を排出したい)	20
・タイマー機能 (時間を計りたい)	21
・自動運転予約 (予約した時刻にふろを沸かしたい)	22~23
機器内部の凍結予防方法	24~25
点検・お手入れ	26~27
故障かな?と思ったら	28~30
長期間使用しない場合	31
寸法図	32
仕様	33
アフターサービスについて	34

特に注意していただきたいこと

機器を安全に正しくお使いいただくために
 この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認ください。

注意表示	意 味
危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行なう事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気厳禁		電源プラグを抜く
	発火注意		接触禁止		

危険

機器の設置
 この機器は、屋外用 (外壁貫通タイプ) ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。

禁 止



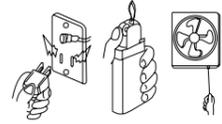
警告

ガス漏れに気づいたとき

すぐに使用をやめてガス元栓を閉めてお買い求めの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

お買い求めの販売店やガス会社の係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」をしないでください。

ガス爆発の恐れがあります。



火気厳禁

設置場所について

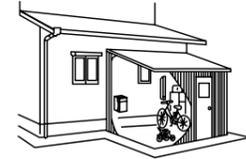
機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの当社営業所に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので十分配慮して設置してください。

この機器は壁貫通タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。

また、波板などによって、囲いをするのもおやめください。

—酸化炭素中毒の恐れがあります。



禁止

やけどに注意

シャワーなどお湯を使用するときは、直接体にかけて湯温を確認してから使用してください。やけど予防のため。

入浴の際には、湯温を確認してから入浴してください。

やけど予防のため。



高温注意

おいだき時は、循環口から熱いお湯がでますので循環口の下の吐出口に手や体を近づけないようにしてください。

火災予防

排気口の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。

機器の周辺ではガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを使用しないでください。

火災の原因になる恐れがあります。

機器の周辺にスプレー缶を置かないでください。

熱でスプレー缶の圧力が上がり破裂する恐れがあります。



発火注意

子供に対する注意

浴そうの循環口の付近で水に潜ったりしないでください。

思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



警告

異常時の処置

ご使用中に普段と違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐに使用をやめて電源プラグを抜き、ガス元栓を閉めてください。28～30ページの「故障かな?と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。

使用電源の確認

AC100V(50/60Hz)以外の電源では使用しないでください。

使用ガスの種類の確認

ガスの種類を確かめてください。

機器本体（銘板）に表示してあるガスの種類以外では使用しないでください。

故障や燃焼不良、過熱の原因となります。ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。

転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

メーカー型式 設置方式 ガスの種類及びグループ	例 都市ガス用13A LPガス用LP
ガス消費量 定格電圧 定格消費電力 定格周波数 製造年月日及び製造番号 製造業者名	例 99.8 -00001 製造年月 製造番号



注意

混合水栓使用時のご注意

高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。

やけどの恐れがあります。

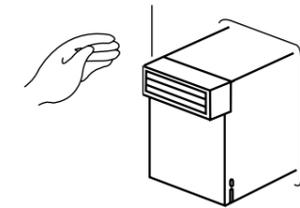
高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。



高温注意

やけどにご注意

使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



接触禁止

用途について

この機器は、給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しないでください。

思わぬ故障の原因になります。

運転停止（消火）時のご注意

燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。

機器の故障の恐れがあります。

入浴時のご注意

おいだき中やおいだき後は、浴そうのお湯の温度が上部と下部で差があることがありますので入浴時は注意してください。

各部の名まえとはたらき

お願い

ガス事故防止

機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

おやすみやお出かけ前に、機器の消火を確認してください。

業務用としての使用禁止

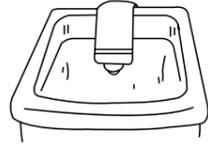
この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

入浴時のご注意

浴そう内の循環口をタオルなどで塞ぐと、循環不良となり、ふろの沸かし上げができません。また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因になることがあります。



禁止



リモコンの掃除

浴室リモコンは、防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については26ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。



禁止

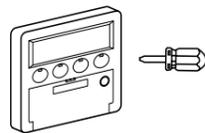


リモコンの分解禁止

リモコンは分解しないでください。



分解禁止



入浴剤や洗剤の使用について

硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤は、熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

飲用についてのご注意

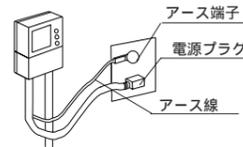
しばらく使わなかったとき、はじめにでてる水は飲んだり調理に用いないでください。

電気事故防止

電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。アース線をアース端子に取付けてください。感電する恐れがあります。



アース接続



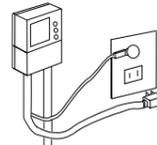
雷が発生しているとき

雷が発生しているときは、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。

機器の故障の恐れがあります。



電源プラグを抜く



積雪時の注意

積雪で排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因になりますので使用を控えてください。

長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、31ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

停電のとき

この機器は、電気で作動しますので停電中は使用できません。

停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。

停電復帰後も自動的に運転されませんので、8～23ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

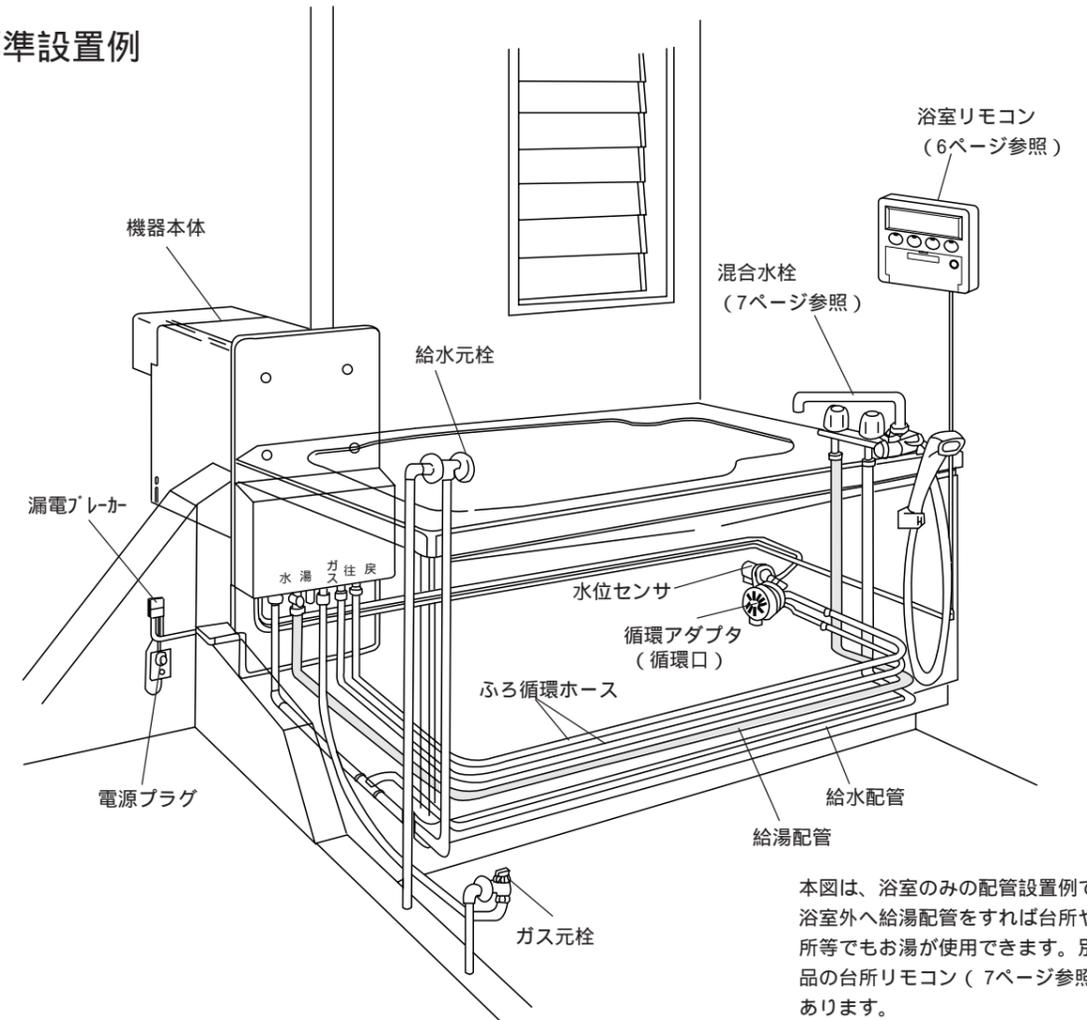
機器内部の凍結予防について

機器内部の凍結予防は、24～25ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

市販の補助用具使用について

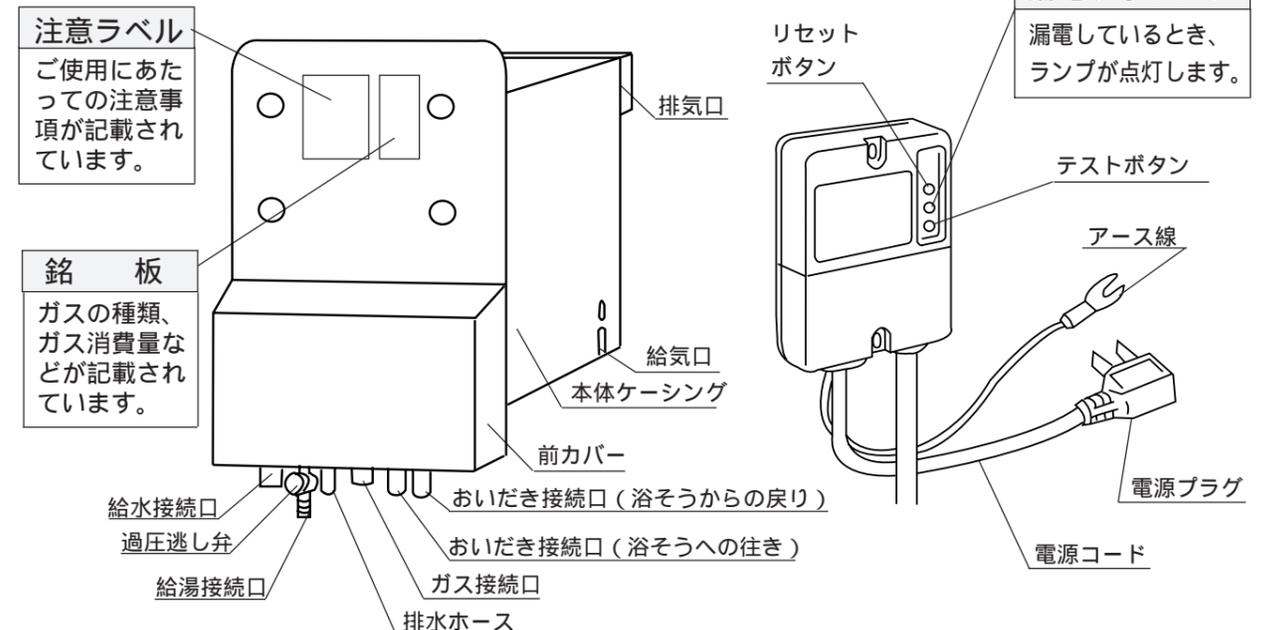
この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。機器の異常の原因になることがあります。

標準設置例

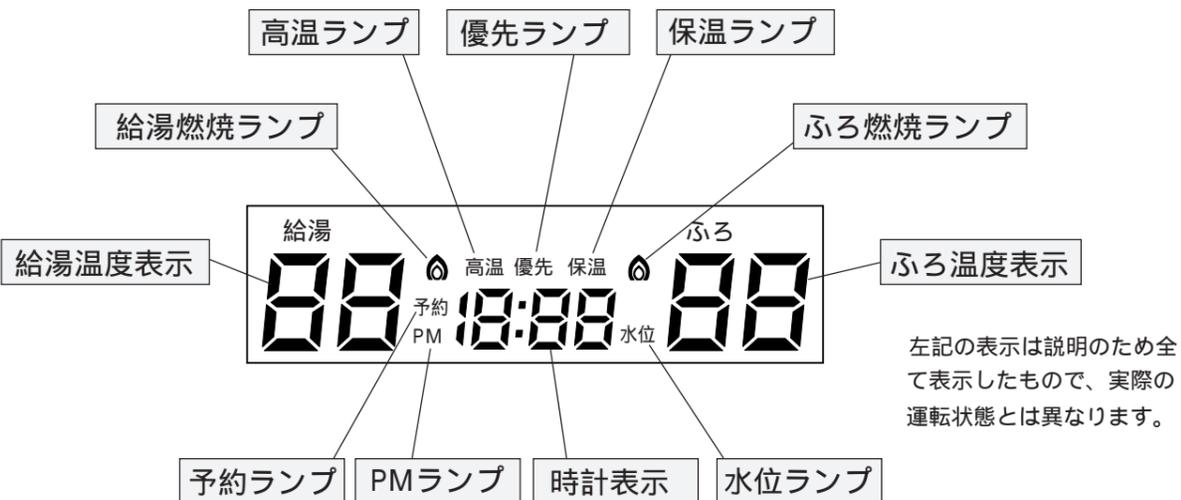
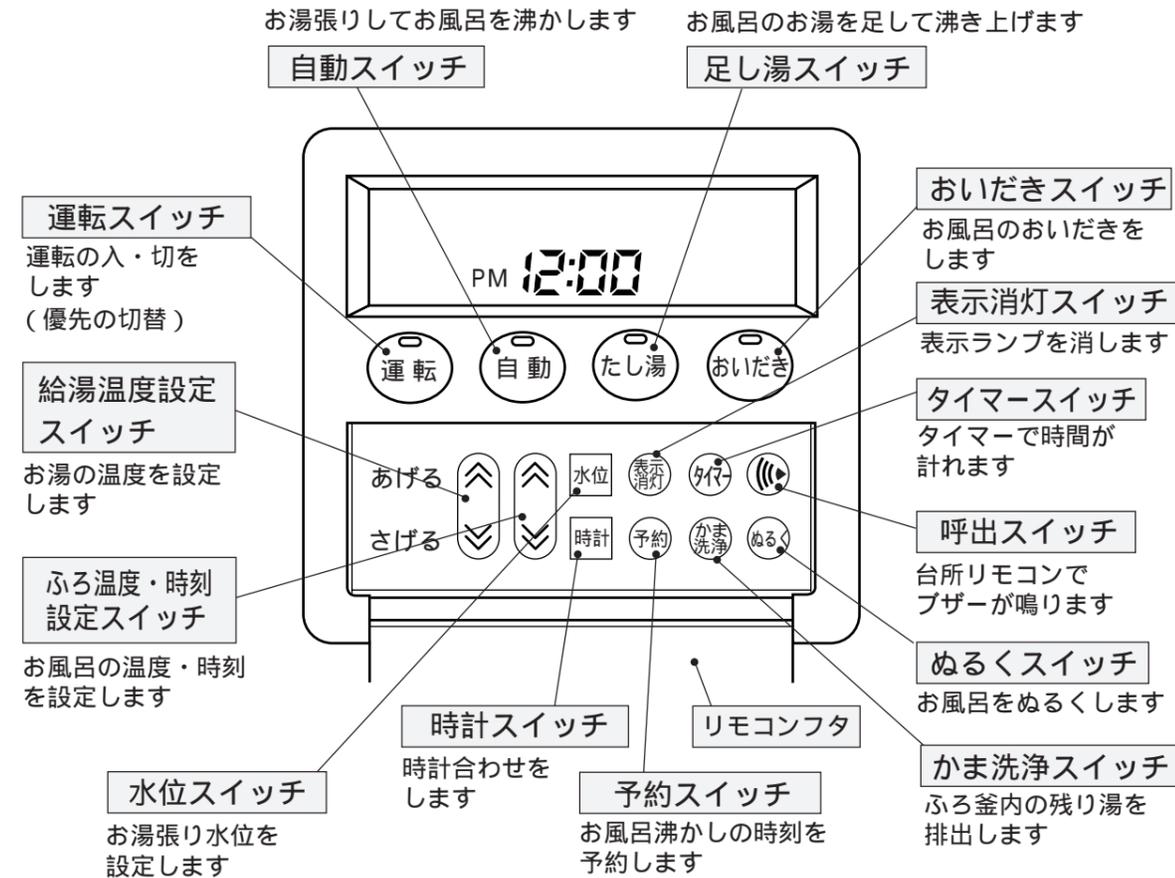


本図は、浴室のみの配管設置例です。浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。別売部品の台所リモコン（7ページ参照）もあります。

本体



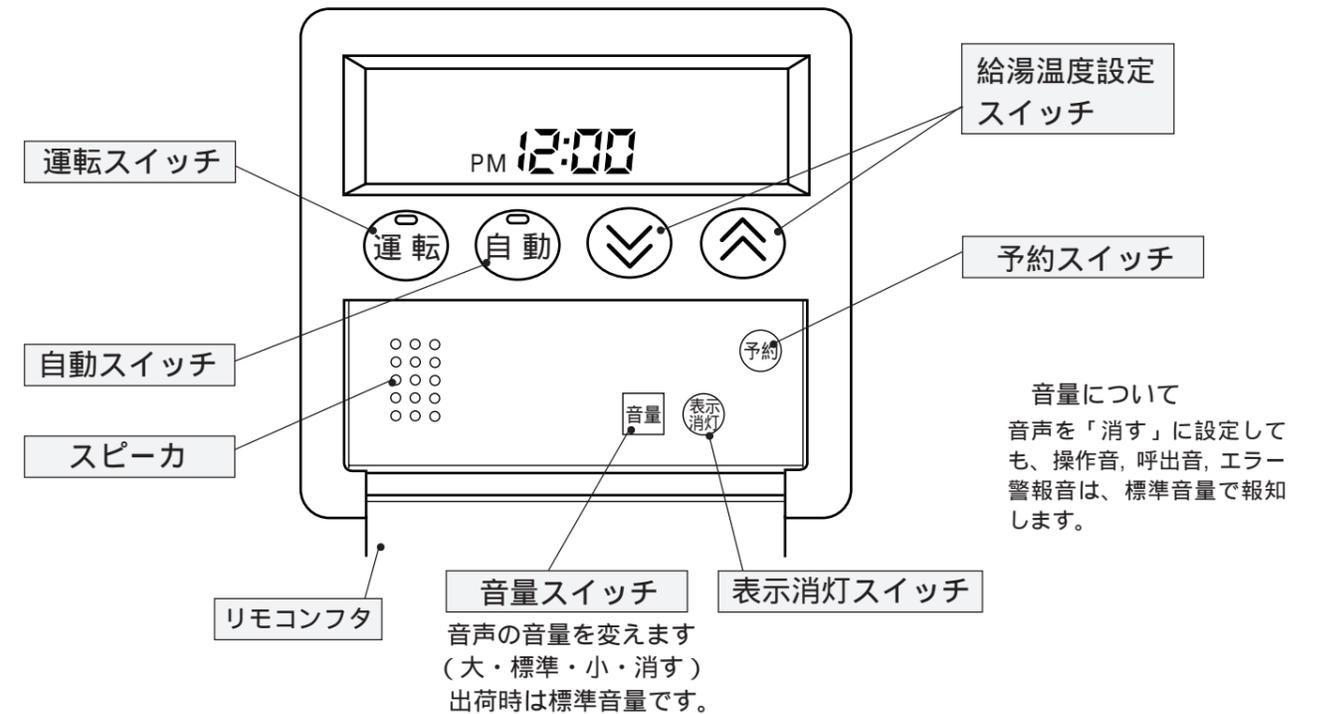
浴室リモコン



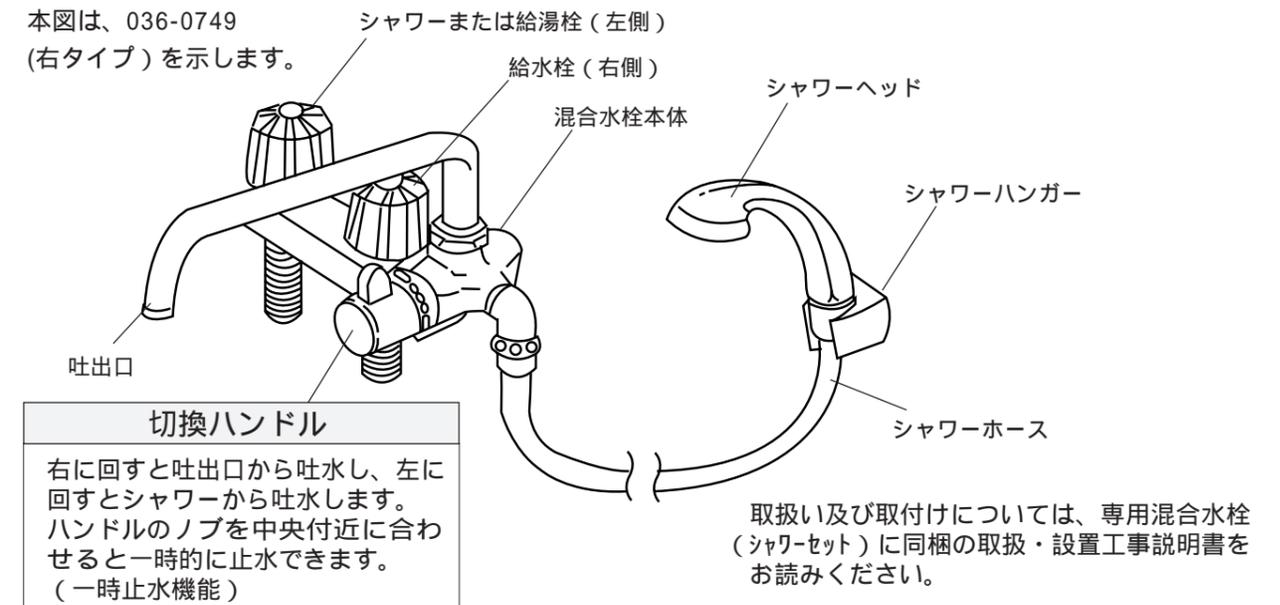
リモコン使用上の注意点

スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切り替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけられないことがあります。
しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。
リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

台所リモコン（別売部品 138-0004）



専用混合水栓（別売部品 シャワーセット 036-0748, 036-0749）



一時止水のままにしない

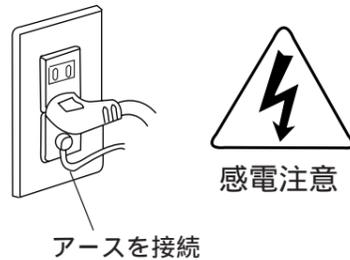
一時止水機能を持つ混合水栓使用時で給湯・シャワーを使い終わった後は、切換ハンドル（一時止水）だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。
一時止水がきかなくなる恐れがあります。

使用方法 初めてお使いいただくときは

使用前の確認

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1. 給水元栓をいっばいに開けます。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。
3. ガス栓を全開にします。
4. 電源プラグ（漏電ブレーカー付）を根元まで確実にコンセントに差し込みます。
アース線をアース端子に取付けてください。



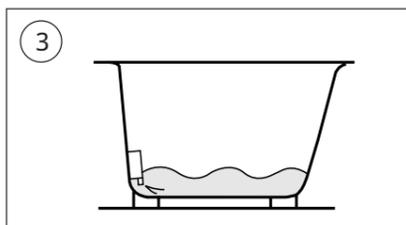
5. ポンプの呼び水をします。
(浴室リモコンで操作)



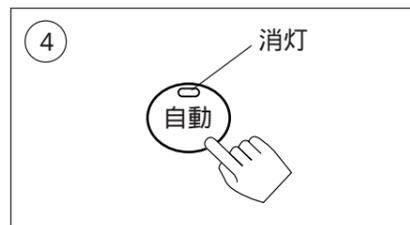
① 「運転」スイッチを押す。
「運転ランプ」が点灯します。



② 「自動」スイッチを押す。
「自動ランプ」が点灯します。



③ 浴そうの循環口からお湯が出てくることを確認します。



④ 「自動」スイッチを押す。
「自動ランプ」が消灯します。

!!! が点滅したら

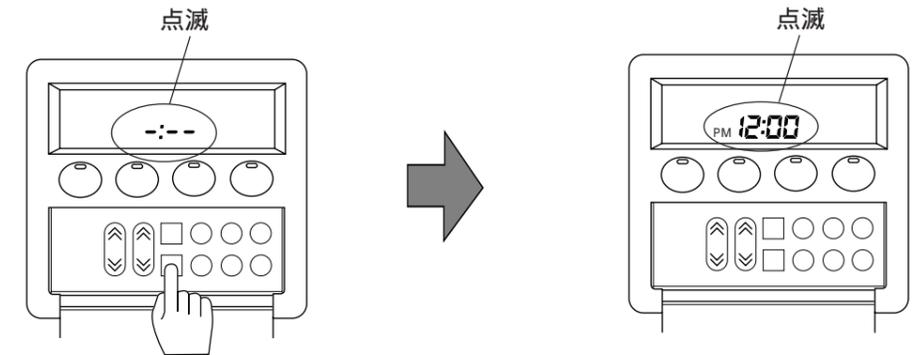
はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、浴室リモコンおよび台所リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらに時計表示部にエラーコード「!!!」が点滅し給湯不着火をお知らせします。このような場合は、いったん給湯栓又はシャワー栓を閉じ、「運転」スイッチを押してエラーを解除し、再度「運転」スイッチを押して、給湯栓を開ける操作を、2～3回繰り返してください。

使用方法 時計時刻の合わせ方

現在時刻の合わせ方

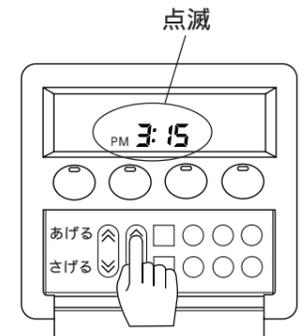
1. 「時計」スイッチを押します。

時計表示が点滅します。初回設定時は、「PM 12:00」が点滅表示します。
(例、電源投入時、または停電復帰時は、「-:-」点滅表示になっています。)



2. 「ふる・時刻」設定スイッチを押し、
現在時刻を設定します。

押す度に、1分ずつ変わります。
押し続けると、10分ずつ早送りできます。
(例、PM 3時15分にセットする場合)



3. もう一度、「時計」スイッチを押します。

点滅が、点灯表示に変わり、
時刻設定が完了します。



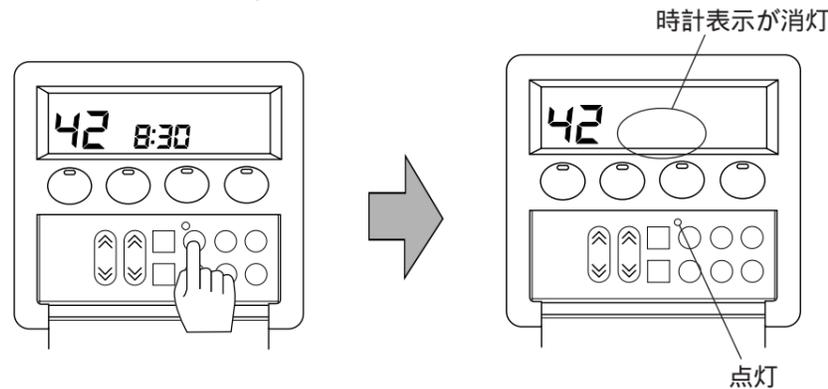
!!! 時刻設定は、浴室リモコンで

現在時刻の設定スイッチは、浴室リモコンにあります。台所リモコンでは、時刻設定はできません。現在時刻の設定がされていないと、「自動運転予約」機能は動作しません。

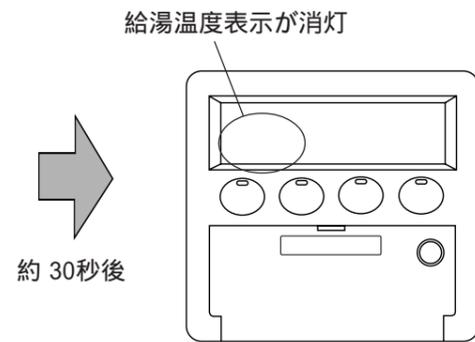
使用方法

1. **表示消灯**スイッチを押します。

「表示消灯ランプ」が点灯します。
同時に、時計表示が消灯します。



2. 約 30秒後に、給湯温度表示が消灯します。



! 表示消灯機能ご使用上の注意点

運転スイッチ「入・切」に関係無く使用できます。

安全のため、一時的に給湯温度表示を復帰し点灯します。

- ・台所やシャワーなどで給湯をご使用のとき。
- ・給湯温度設定が変更されたとき。

ふる温度表示は消灯しません。

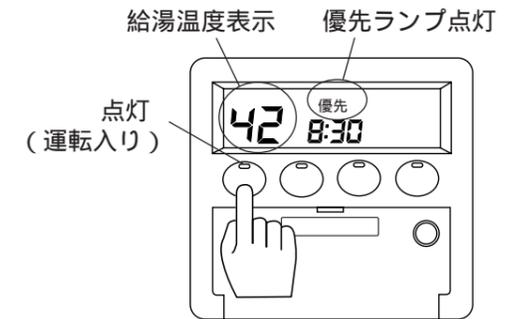
別売の台所リモコンとセットでお使いの場合、リモコン別に表示消灯機能を使用できます。

表示消灯動作中でも、運転ランプ・燃烧ランプ・優先・高温・保温などのランプは消灯しません。

お湯を使いたい 器具運転開始

1. **運転**スイッチを押します。

「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。
給湯温度が表示されます。



2. 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。
(一度設定すると記憶します)

給湯温度の表示は目安ですが、37～50、60 の15段階に設定できます。(37～50 間は、1 きざみ)

スイッチは1回押すたびに、1段階ずつ調節できますが、**▲**スイッチを押し続けると45 までは速く動きます。



3. シャワー栓または給湯栓を開けます。

燃烧を開始し、「給湯燃烧ランプ」**🔥** が点灯します。
しばらくしてお湯が出ます。

(お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。)

別売部品の台所リモコン側の「給湯燃烧ランプ」**🔥** も点灯します。

(例: 42 40)

シャワー・給湯停止 器具運転停止

1. シャワー栓または給湯栓を閉めます。

燃烧が止まり、「給湯燃烧ランプ」**🔥** が消灯します。

「優先ランプ」はそのまま点灯しています。

(再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます。)



2. もう一度 **運転**スイッチを押します。

浴室リモコンの「運転ランプ」、「給湯温度表示」、「優先ランプ」が消えます。

別売部品の台所リモコンと合わせて使用している場合、

台所リモコンの**運転**スイッチを押しても運転停止できます。



使用方法 お湯の出しかた（台所リモコンでの操作）

シャワーの湯量が少ないとき（低給水圧）

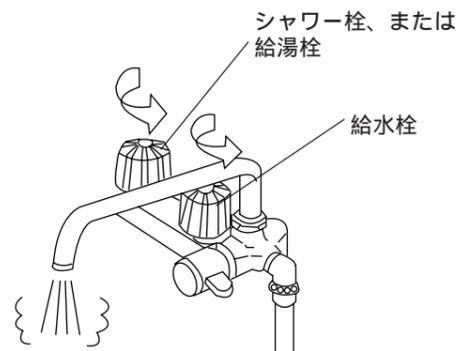
給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをお勧めします。この場合、 スイッチで湯温を60 に設定して使われることをお勧めします。

湯と水をミキシングして使用する場合、湯温調節がしづらい場合があります。この場合、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると比較的易しく操作できます。

60 設定にすると、「高温ランプ」が点灯します。



高温注意



やけどに注意

やけどに注意

湯温を確認してから使用してください。

混合水栓使用時のご注意

高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。

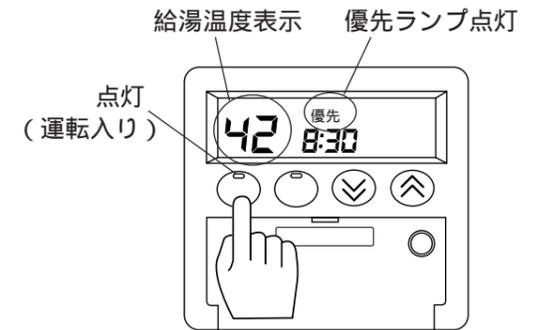
高温で使用后、またすぐに出湯する場合には熱い湯がでる恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

運転を再開する場合

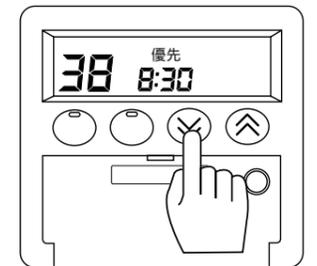
運転停止後再び「運転」スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が37 ~ 50 のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が60 であったときは安全のため42 に戻ります。

お湯を使いたい

- 1 **運転** スイッチを押します。
「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。
給湯温度が表示されます。



- 2 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。
(一度設定すると記憶します。浴室リモコンとは別の温度に記憶できます。)
台所リモコンの スイッチを押せば、温度設定ができます。(例、42 38)
ふるの温度は、台所リモコンでは変更できません。



別売部品の台所リモコン
(138-0004)

- 3 台所、または洗面所の給湯栓を開けます。
「給湯燃焼ランプ」 が点灯します。
しばらくしてお湯が出ます。

- 4 使用後、給湯栓を閉めます。
お湯が止まると「給湯燃焼ランプ」 が消灯します。
運転 スイッチを押すと、器具の運転が停止します。

「優先」ランプが点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

別売の台所リモコンをお使いの場合

使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をして下さい。

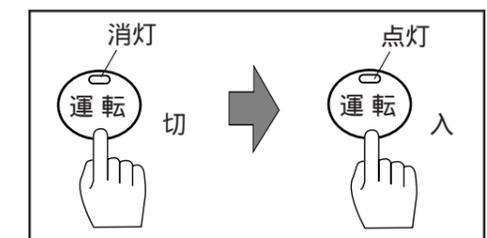
(「運転」スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。)

浴室リモコンを「優先」にしたい

・運転スイッチを押す

台所リモコンを「優先」にしたい

・運転スイッチをいったん切り、再度入れる。



すでに優先になっている場合は、運転「切」になります。

使用方法 自動運転...ふろの自動お湯はりをしたい

運転前の準備

1 排水栓を閉めます。
お風呂を沸かす前に必ず排水栓を閉めます。

必ず行う



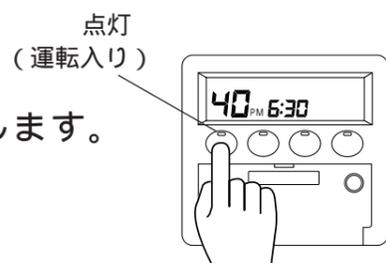
2 浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。



! 排水栓はしっかりと
浴そうの排水栓を閉め忘れて自動お湯はりした場合、お湯はり開始後約1時間経過すると自動的にお湯はりを停止します。

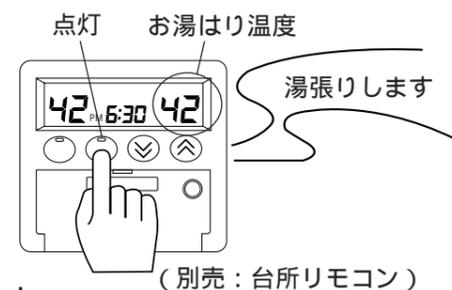
自動運転の使用方法

1. **運転**スイッチを押し運転入りにします。
「運転ランプ」が点灯します。



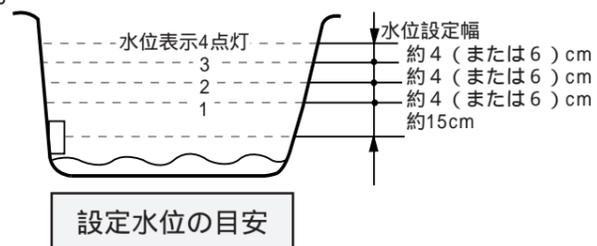
2. **自動**スイッチを押します。

「自動ランプ」が点灯し、「給湯燃焼ランプ」が点灯し、自動的にお湯はりが開始されます。
給湯温度は、お湯はり温度に変わります。
別売の台所リモコンをご使用の場合は、自動運転開始時に、リモコンから「湯張りします」と、音声でお知らせします。



3. **水位**スイッチでお湯はり水位を設定します。

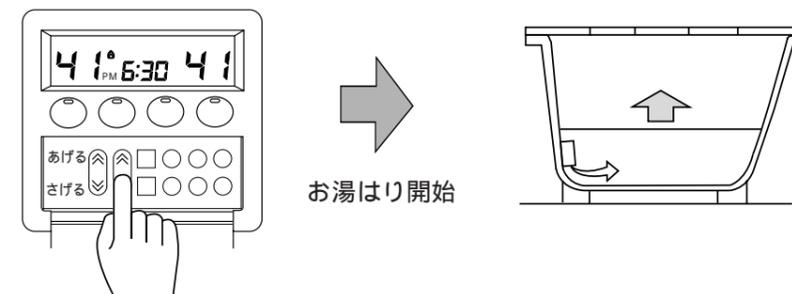
希望の水位を1～4の4段階まで選べます。
一度設定すれば記憶します。
(電源投入時または停電復帰後は、水位2となっています)
水位の目安は、ふろ循環口の中心から上方約15cmから約4cm(または6cm)きざみの4段階となっています。
出荷時は4cmです。



水位設定の幅は、機器設置時に、ご使用になる浴そうサイズ(深さ)に合わせて、予め約4cmまたは約6cmきざみに設定されています。浴そうを交換される場合や、水位設定4(最も高い)の水位でのお湯はり、浴そうからお湯があふれたり、十分なお湯はり水位が得られない場合は水位設定幅の再設定が必要になることがあります。お買い求めの販売店、もしくは大阪ガスにご相談ください。

4. ふろ温度設定スイッチでお好みのお湯はり温度に設定します。

お湯はり温度は、目安ですが、約37から48の範囲で1ずつ設定できます。
「ふろ温度表示」と同時に、「給湯温度表示」も変わります。



5. 沸き上がると自動でストップ。(ブザーでお知らせ)

お風呂の設定水位までお湯はりを完了すると、お湯が止まります。
この時、給湯温度は元の給湯設定温度に戻ります。
お湯はりが終了すると、沸き上げ運転に入り、「ふろ燃焼ランプ」が点灯します。
設定温度までの沸き上げが終了しますと、「保温ランプ」が点灯し、リモコンからブザーでお知らせします。
別売の台所リモコンを同時にお使いの場合は、台所リモコンから、メロディと音声「お風呂が沸きました」でお知らせします。



6. 自動保温・自動足し湯運転となります。

自動スイッチを押してから、約4時間が経過すると「自動ランプ」が消灯し、自動運転を終了します。
途中で、**運転**スイッチまたは**自動**スイッチを押すと、自動運転を停止します。

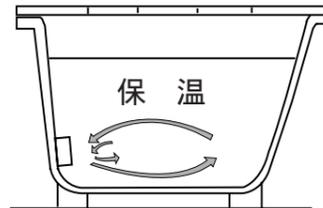
! ふろ自動運転ご使用上の注意
電源投入時または停電復帰後のふろ自動の温度は、42 設定となっています。
浴そうに残り湯がある場合も**自動**スイッチを押すだけで、設定水位までお湯はりし、沸き上げます。

お湯の温度が下がったら、自動であたためます。

保温中は約20分毎にポンプがまわり湯温を検知し、設定温度より湯温が下がっていると自動的に設定した温度までおいだきます。このとき、「ふろ燃焼ランプ」が点灯します。

保温中にふろ自動の設定温度を変えると、その温度に沸き上げることができます。ただし、浴そうの湯温より低目に設定を変えても、浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的にポンプがまわり、燃焼することがありますが異常ではありません。

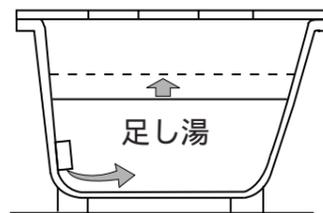
自動保温機能は、自動スイッチを押してから約4時間作動します。



お湯が減れば自動で足し湯します。

お湯の量が減ると（自動お湯はり終了したときの水位から、約3cm下がると）自動的に設定水位まで設定温度のお湯を足し湯します。このとき「給湯燃焼ランプ」が点灯します。給湯温度は、お湯はり温度が表示されますが、足し湯終了時は元の温度に戻ります。

自動足し湯機能は、自動スイッチを押してから約4時間作動します。



自動運転停止

自動運転を途中で止めたいときは、再度自動スイッチを押します。

「自動ランプ」が消えます。

「ふろ温度表示」が消えます。

「給湯温度表示」が給湯使用時の温度にもどります。



自動お湯はり中の給湯使用について

自動お湯はり中、給湯栓を開ければお湯を使用することはできますが、給湯の温度はふろの温度と同じ温度になります。また冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。

配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。

運転前の準備

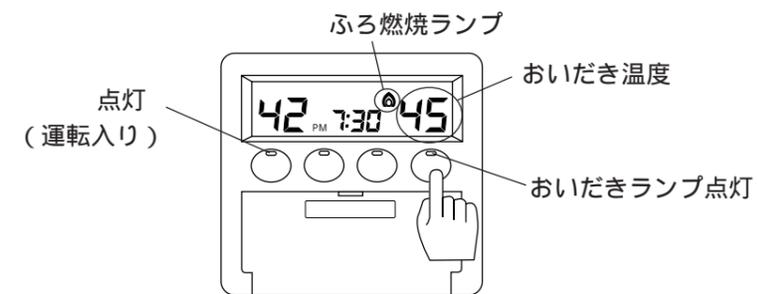
循環口キャップが十分つかる程度のお湯（または水）がはってあるか確認してください。お湯（または水）が少ないとおいだし運転はできません。

使用方法

1. 運転スイッチを入りにしてからおいだしスイッチを押します。

「おいだしランプ」、「おいだし温度表示」が点灯して、浴そう内のお湯（または水）が循環しはじめます。

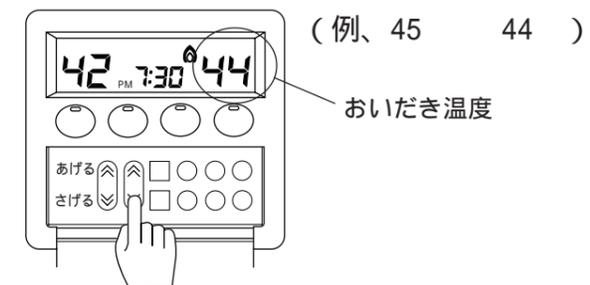
しばらくして「ふろ燃焼ランプ」が点灯し、ふろのおいだしを始めます。



2. 「ふろ温度設定」スイッチで、おいだし温度を設定します。

おいだし温度は、目安ですが37から48の範囲で1ずつ設定できます。また、自動運転による沸き上げ温度と違う温度に記憶できます。（一度設定すると、記憶します。）

（お買い上げいただいた時又は停電復帰後は、42設定となっています。）



3. 沸き上がると、自動でストップ。

「ふろ燃焼ランプ」、「ふろ温度表示」が消灯し、約30秒後にお湯の循環が止まります。途中でおいだしを止めたいときは、再度おいだしスイッチを押します。

おふる沸かしは、浴そうに水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴そうが空の状態からおふる沸かしをする場合は、「自動運転」をおすすめします。



使用方法

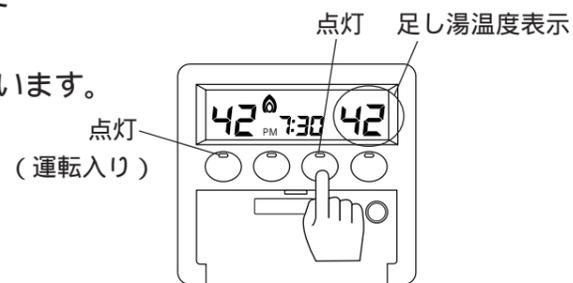
1. **運転**スイッチを入りにしてから、**たし湯**スイッチを押します。

「足し湯ランプ」、「足し湯温度表示」が点灯します。

浴そうのふろ循環口から、お湯が出て

「給湯燃烧ランプ」が点灯します。

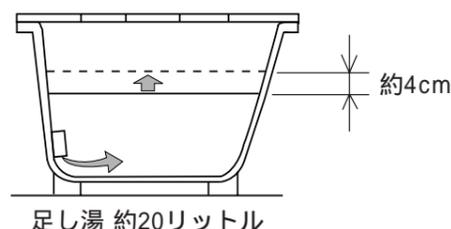
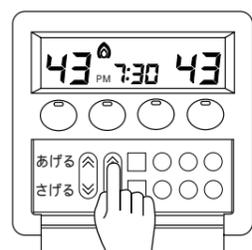
約 20リットルの足し湯（注湯）を行います。



2. 足し湯温度を変更できます。

ふろ温度設定スイッチで、足し湯温度が変更できます。

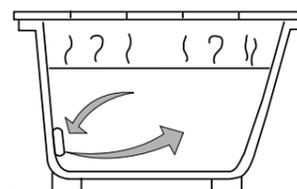
給湯温度は、足し湯温度に変わります。（例、42 43）



3. 足し湯温度に沸き上げます。

約20リットルの注湯が終了すると、給湯温度が元の温度設定に戻ります。

「ふろ燃烧ランプ」が点灯し、足し湯の設定温度まで、おいただきし、沸き上がり停止します。



たし湯運転ご使用上の注意点

足し湯温度は、記憶されません。次回の足し湯運転開始時の足し湯温度は、ふろ自動の温度になります。
 足し湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、その分だけ、足し湯量が減少します。
 足し湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、給湯温度は、足し湯温度になります。
 足し湯中に **たし湯** スイッチを押すと、足し湯運転を終了します。

使用方法

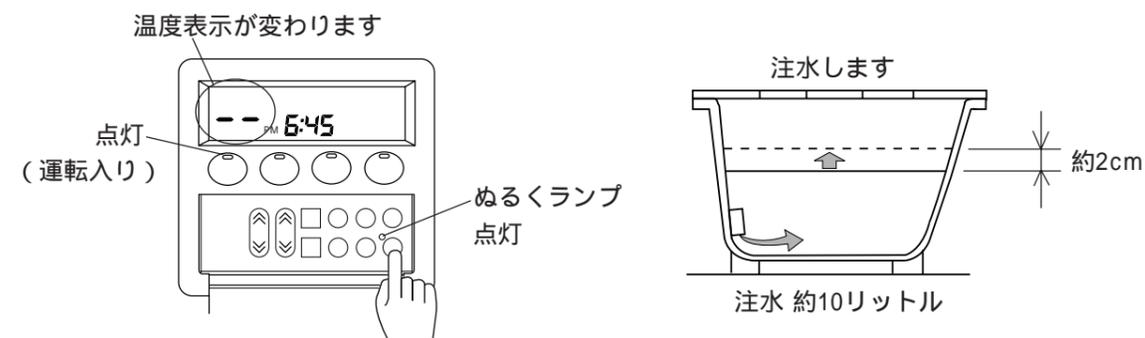
1. **運転**スイッチを入りにして、**ぬるく**スイッチを押します。

「ぬるくランプ」点灯し、「給湯温度表示」が、「- -」に変わります。

（台所リモコンをご使用の場合、台所リモコンでも「- -」表示に変わります。）

浴そうのふろ循環口から、水が出てきます。

約 10リットルの足し水（注水）を行います。



2. ぬるく運転終了後は、通常の給湯運転に戻ります。

「ぬるくランプ」消灯し、「給湯温度表示」が、復帰します。

（ぬるく運転前の給湯温度が60 設定の場合、安全のため50 設定になります。）

約 20秒間ポンプ循環し、浴そう水を かくはん します。



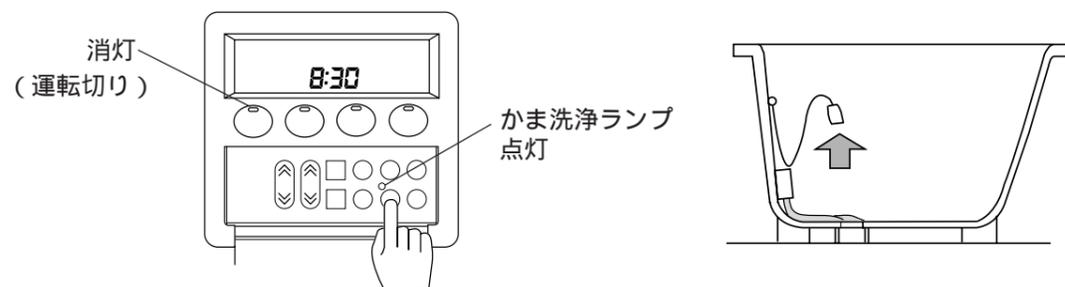
ぬるく運転ご使用上の注意点

ぬるく運転中は、台所やシャワーなどで給湯栓を開けてもお湯は出ません。水になります。
 注水は、給水をそのまま使用します。給水温度が高い場合、浴槽湯温が下がりにくくなります。
 ぬるく運転中に台所やシャワーなどで給湯栓を開けると、その分だけ、注水量が減少します。
 ぬるく運転中に **ぬるく** スイッチを押すと、ぬるく運転を終了します。
 浴槽水が少ない場合、ぬるく運転は、動作しません。

使用方法 かま洗淨運転・・・ふる釜内の残り湯を排出したい

使用方法

1. 浴そうの排水栓を抜いて、浴そう内の水を排水します。
2. **運転** を切りにしてから、**かま洗淨** スイッチを押します。
「かま洗淨ランプ」が点灯します。
しばらくして、浴そうのふる循環口から、水が出てきます。
約20秒間、ふる釜内の残り湯をきれいな水で、押し流します。



3. ふる釜内の水を排出して終了します。

「かま洗淨ランプ」が消灯し、注水が完了すると、約20秒間循環用ポンプが作動して、ふる釜内の残水を排出します。

「かしこい」おふる掃除の手順・・・

1. おふるの排水栓を抜いて、浴槽を空にします。
2. **かま洗淨** スイッチを押し、ふる釜内に残った浴そう水を排出します。
3. 浴そうのお掃除をはじめます。
4. 浴そうの排水栓を閉めます。



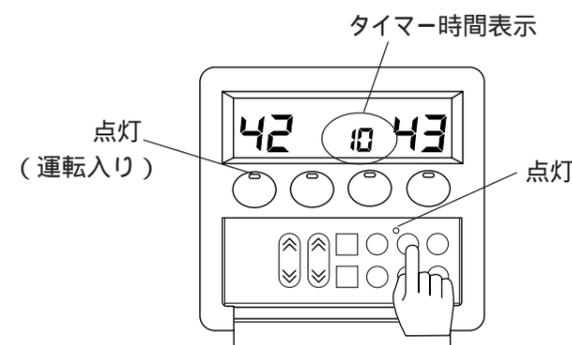
⚠ かま洗淨運転ご使用上の注意点

かま洗淨運転は、**運転** スイッチが切りでないと作動しません。
かま洗淨運転は、ふる釜内の残り湯をきれいな水で押し流し排出する機能です。こびり付いた湯あかなどは洗淨できません。
かま洗淨運転時は、台所やシャワーなどの給湯栓は閉めてください。十分な排出ができないことがあります。
かま洗淨運転中に、**かま洗淨** スイッチを押すと、かま洗淨運転を終了します。
浴そう水が残っている場合、かま洗淨運転は、動作しません。
使用水压の違いにより、「かま洗淨ランプ」が消灯してから注水が完了するまでに時間がかかる場合があります。

使用方法 タイマー機能・・・時間を計りたい

使用方法

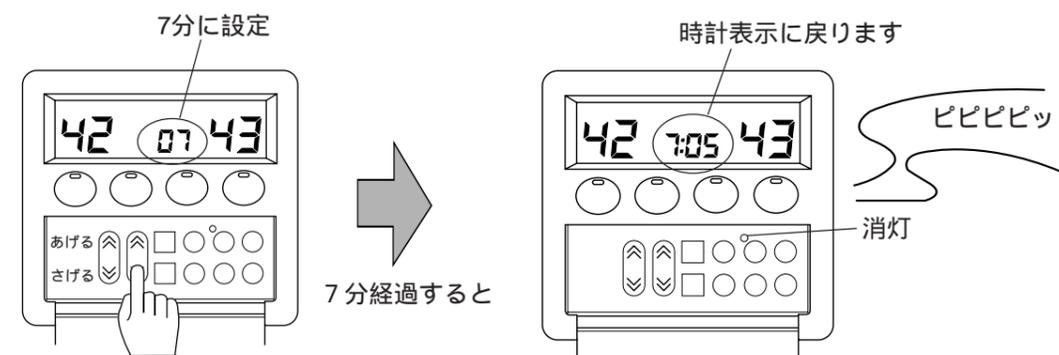
1. **運転** スイッチを入りにして、**タイマー** スイッチを押します。
「タイマーランプ」が点灯します。
同時に、「タイマー時間」が表示されます。
(電源投入時、または停電復帰時は、10分設定となっています。)



2. 「ふる・時刻」設定スイッチにて、時間設定します。

タイマーの時間は、1～60分の範囲で、1分ずつ設定できます。
(設定した時間は、次回に記憶されます。)

残り時間を表示し、設定した時間が経過すると、時計表示に戻り、リモコンからブザーでお知らせします。



⚠ タイマー機能ご使用上の注意点

タイマー動作中に、設定時間を変更すると、変更された時間に再セットされます。
タイマー動作中に、**自動** スイッチを入りにすると、タイマーは解除されます。
タイマー動作中に、自動お湯はり水位の設定操作をすると、タイマーは解除されます。
タイマー動作中に、**タイマー** スイッチを押すと、タイマーを終了します。
タイマー動作中に、ふる温度は変更できません。

運転前の準備

1 排水栓を閉めます。
お風呂を沸かす前に必ず排水栓を閉めます。



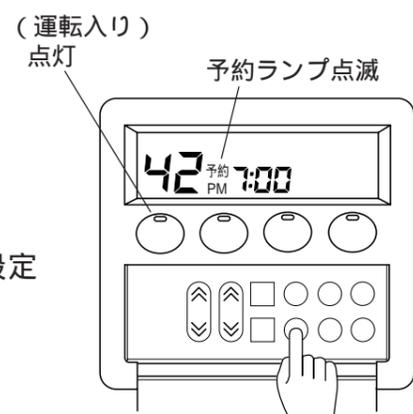
必ず行う

2 浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。



予約時刻設定 浴室リモコンでの操作

- 1 (運転) スイッチ入りにしてから、(予約) スイッチを押します。
「予約ランプ」が、点滅し、時計表示に現在設定されている予約時刻が表示されます。
(電源投入時、または停電復帰時は、「PM7:00」表示になっています。)



- 2 「ふろ・時刻」設定スイッチを押し、予約時刻(入浴したい時刻)を設定します。
押す度に、1分ずつ変わります。
押し続けると、10分ずつ早送りできます。
(例、PM8時に予約)



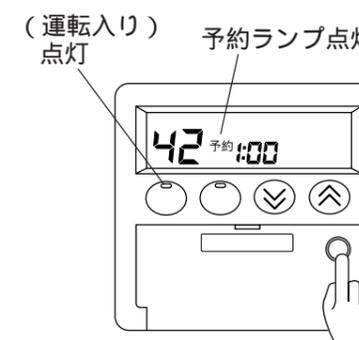
- 3 もう一度、(予約) スイッチを押します。
点滅が、点灯表示に変わり、少しして、時計表示に戻ります。現在時刻が、あっているか、確認してください。
自動運転予約待機となります。



予約設定 台所リモコンでの操作

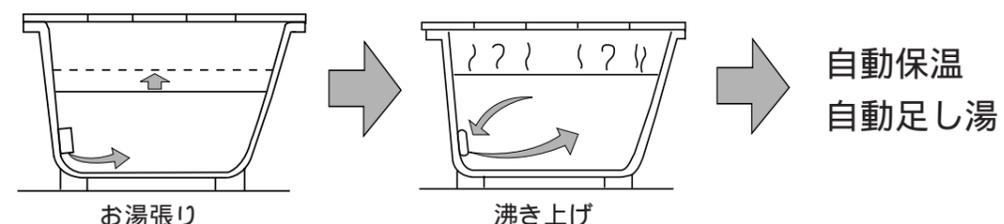
別売の台所リモコンでも、自動運転予約ができます。
予約時刻の変更はできません。

- 1 (運転) スイッチ入りにしてから、(予約) スイッチを押します。
「予約ランプ」が、点灯します。
予約時刻が表示され、少しすると、現在時刻に戻ります。現在時刻を確認してください。
自動運転予約待機となります。



予約運転の開始

予約した時刻の30分前になると、「自動ランプ」が点灯し、お湯はりを開始します。
(現在時刻から、30分以内に予約時刻を設定した場合、予約設定終了と同時に、自動お湯はりを開始します。)
自動お湯はりが終了し、ふろ設定温度まで沸き上げると、ブザー(台所リモコンからは、メロディと音声)にてお知らせします。
自動お湯はり開始から4時間は、自動足し湯・自動保温運転を続けます。



! 予約自動運転ご使用上の注意点

現在時刻の設定がされていないと「自動運転予約」機能は動作しません。(9ページ参照)
自動運転予約待機中に、予約解除するときは、(予約) スイッチを押してください。
自動運転予約待機中に、リモコン操作で、運転切り、または自動・たし湯・おいだき・ぬるく運転を開始すると、予約は解除されます。
自動運転予約時の、湯張り水位・温度は、自動運転時の水位・ふろ温度になります。変更する場合は、一旦、(自動) を入りにし、水位・ふろ温度を変更し、(自動) を切りにした後、自動運転予約の設定を行ってください。
沸き上がりブザーは、予約時刻にかかわらず、沸き上げ完了時に報知します。
浴槽に、前日の残り湯が残っている場合(水からの沸き上げ)など、予約した時刻までに沸き上がらないことがあります。
自動運転予約待機中に停電すると、停電復帰後、予約は解除されます。

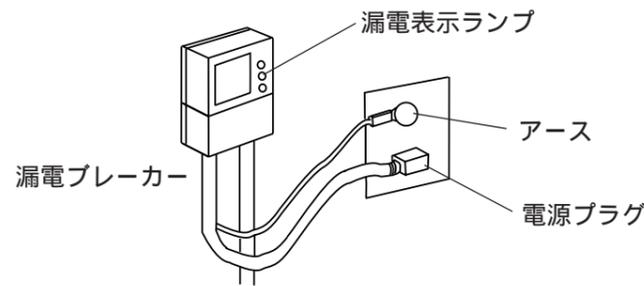
機器内部の凍結予防方法

凍結予防

冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1. 通常の寒さのときの凍結予防ヒーターによる予防方法

電源プラグをコンセントに入れた状態にします。
抜けていると作動しませんので、注意してください。
漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。
点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。(27ページ参照)



この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。
凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。

⚠ 凍結予防に関する注意点

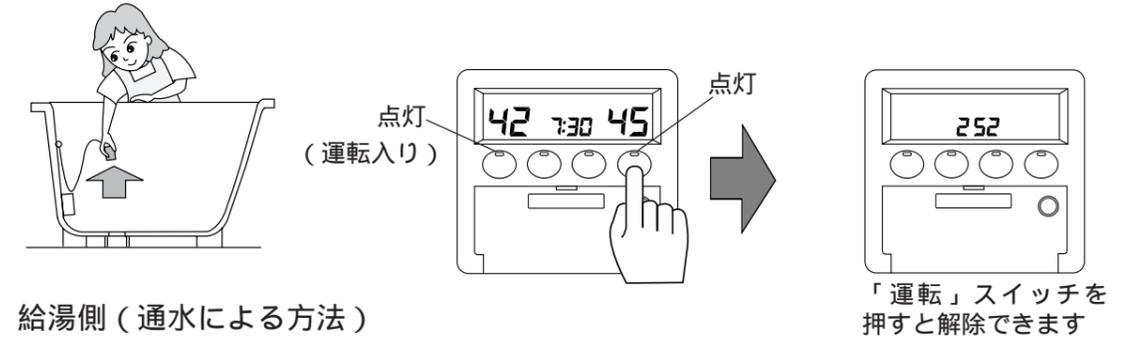
ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時 -15 まで、有風(4m/秒)時 -10 までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。配管には保温材を巻いて凍結予防をしてください。
この機器は外気温が -15 以下になる場合には凍結予防のために水抜き処置が必要です。(31ページ参照)

2. 冷え込みの厳しいときや停電のときの予防方法

おいだき側(ポンプの水抜き方法)

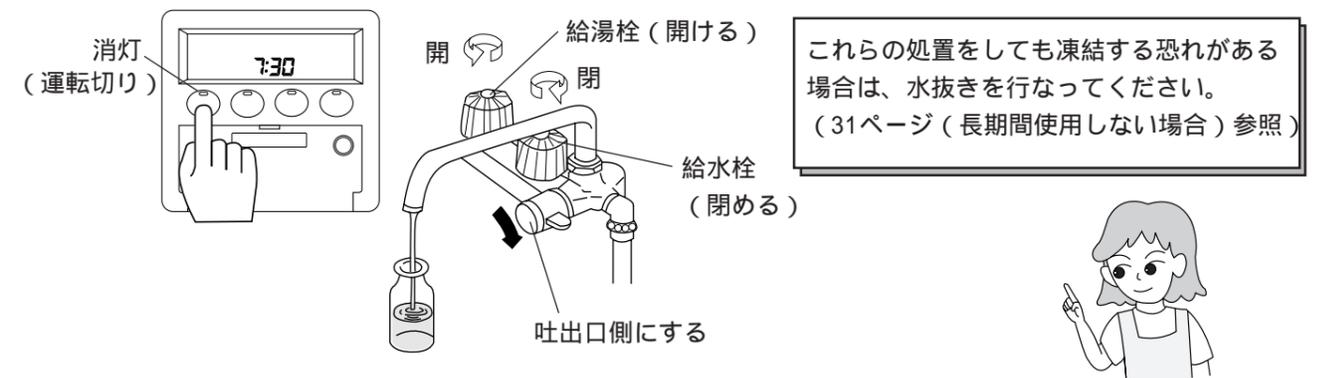
浴そうの水をぬきます。

⓪(運転)スイッチを入りにして、⓪(おいだき)スイッチを押し、**252** エラーコードが表示されるまで待ちます。このときポンプの音が大きくなりますが、ふる循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。



給湯側(通水による方法)

- (1) リモコン ⓪(運転)スイッチを切りにします。
「運転ランプ」が消灯します。
- (2) ガス栓を閉めます。
- (3) おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc(牛乳びん2本分)ぐらいの水を浴そうに流し込みます。(流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。)



⚠ 凍結したときは

凍結により、給湯栓・シャワー栓・ふる循環口から水が出ないときは、使用しないでください。凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解冻するのを待ちます。解冻して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
凍結により、機器が破損した場合、高額な修理費用がかかります。(有料)
万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスまでご連絡ください。

点検・お手入れ

機器を安全に、快適にお使いいただくために・・・



お手入れの前には、ガス栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますので、やけどする恐れがあります。



機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

点検のポイント

- 機器の上やまわりに燃えやすいものはありませんか。
- 給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。
- 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
- ガスのおいはしませんか。
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
- 機器の外観に異常は見られませんか。
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。



⚠️ お手入れ時の注意

機器外観やリモコンの表面の汚れがひどくおそうじされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとったあと、からぶきします。
ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。
傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの恐れがあります。
リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。
リモコンの故障の原因になります。
循環口のお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。
変色、変形の恐れがあります。
浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。



漏電ブレーカーの点検

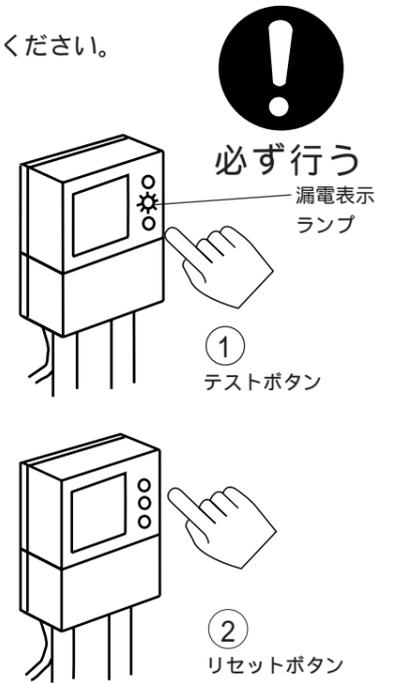
漏電ブレーカーが正しく作動することを確認するため、次の操作を行なってください。

- ① テストボタンを押します。 漏電表示ランプが点灯します。
- ② リセットボタンを押します。 漏電表示ランプが消灯します。

月に1回以上の作動確認を行なってください。

正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら電源プラグを抜き、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
作動確認後は設定していた温度、水位、現在時刻、自動運転予約タイマーが初期値になります。

- ・給湯温度 42
- ・お湯はり水位 水位2
- ・タイマー 10分
- ・おいだき温度 42
- ・現在時刻 - : - -
- ・自動温度 42
- ・自動運転予約時刻 PM 7:00



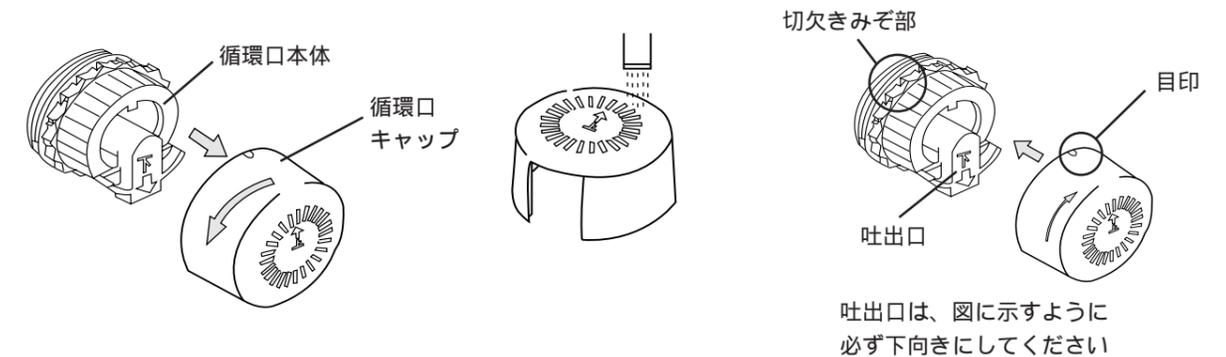
循環アダプタのお手入れ

循環アダプタの汚れや詰まりのお掃除は、循環口キャップを取外して水で洗います。
月に1回以上、掃除してください。循環口が詰ったまま使用すると故障の原因になります。



必ず行う

- ① 循環口キャップを左へ少し回してから引き外します。
- ② 循環口キャップを水洗いします
- ③ 循環口キャップを上マークが上になるように差し込み、右へ少し回して取付けます。



循環口キャップの取り付けは、上マークが上になるようにし、キャップの目印の裏にあるツメが循環口本体のほぼ真上にあたる切欠き部のみぞに合うように差し込み、右へ少し回して止めます。

故障かな？と思ったら...

次のことをお調べください

現象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。(27ページ) 停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	ガス元栓が全開になっていますか。 給水元栓が全開になっていますか。 断水ではありませんか。 リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 凍結していませんか。(24,25ページ)
あついお湯が出ない	リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ガス元栓が全開になっていますか。 給湯またはシャワーを2ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 水量を絞りすぎていませんか。(夏) 給水元栓が全開になっていますか。
お湯が沸かさない	浴そうの水(湯)がふろ循環口より上にありますか。 呼び水をしましたか。(8ページ)
お湯が沸かすのが遅い	ふろお湯温度設定が低くなっていませんか。 循環口キャップがはずれていませんか。(27ページ) 循環口キャップの向きは、正しいですか。(27ページ)
浴そうの上下の温度差が大きい	循環口キャップの向きは正しいですか。(27ページ) 循環口キャップが目詰りしていませんか。(27ページ)
設定した温度、時刻などが記憶されていない	停電が起きていませんか。 1秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度時刻、水位が初期値になります。(27ページ)

エラーコードの表示をお調べください

表示	故障と思われる範囲または原因	処置
1 1 1 1 2 1 1 1 2 1 2 2	給湯不着火 給湯使用時、途中消火(失火) ふろ不着火 ふろ使用時、途中消火(失火)	ガス元栓の全開を確認し、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
1 4 0 1 4 0	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
2 5 2	ふろ循環システムの故障または異常	浴そうの循環口キャップが充分につかるまで水(湯)がはってあることを確認してください。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
1 0 1	ファンほこりづまり警告	お湯を使用することはできますが、十分な給湯能力が出ない状態ですので、すぐに販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。
9 9 1	ファンほこりづまり異常	給湯、自動が使用できない状態ですので、すぐに販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。



リモコン表示ランプが点滅しているときは

この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。(上表で確認してください。)
エラーコードの点滅解除は、**運転**スイッチを押します。
機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード(511, 512, 311, 331, 322, 432, 721, 722, 611, 310, 700, 710など)が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、マイコンの安全装置または漏電ブレーカーの作動が考えられますので、27ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

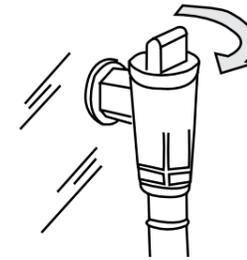
長期間使用しない場合

次のような場合は故障ではありません

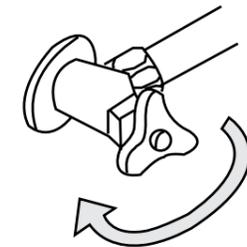
こんな場合	理由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後7分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
おいだきが終了してもしばらく音がする。	消火後30秒間はポンプを回転させてお風呂のお湯をかくはんしています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
ふる自動お湯はりまたは、おいだきを始めると循環口からポコポコ音がして泡が出る。	おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
排水ホースから少量のお湯が出る。	この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。 使い始めと使い終わりに少量のお湯が出ますが異常ではありません。 給水圧が低い場所で給湯と自動注湯の同時使用した場合、浴そうへのお湯はり量が少なくなり、少しだけ機外へも、お湯を排水しますが異常ではありません。 大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。
給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約2ℓ分以下）と消火します。また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯がでない。	夏期水温が30 近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。

長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1. ガスの元栓を閉じる。



2. 給水元栓を閉じる。



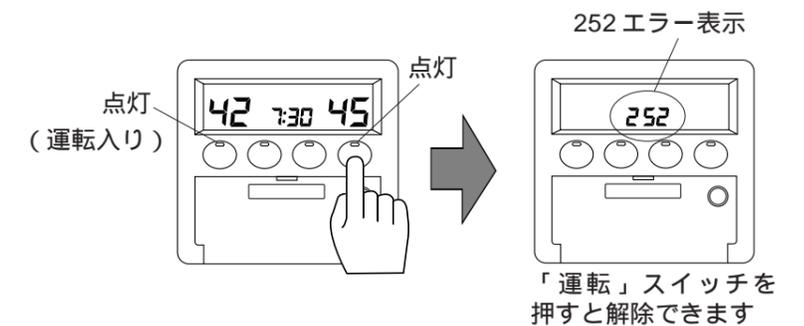
3. 機器の水抜きを行う。

水抜きの手順

- (1) 給水及び給湯配管途中の接続部を外す。
- (2) 配管内の水が抜けたら、元通りにする。
- (3) 浴そうの水を排水する。

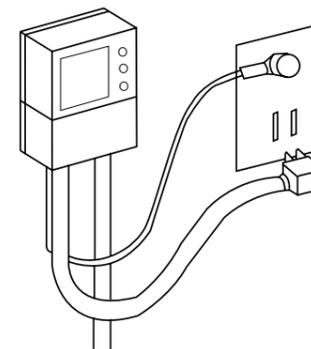


- (4) **運転** スイッチ入りにして、**おいだき** スイッチを押し、**252** のエラーコードが表示されるまで運転してください。



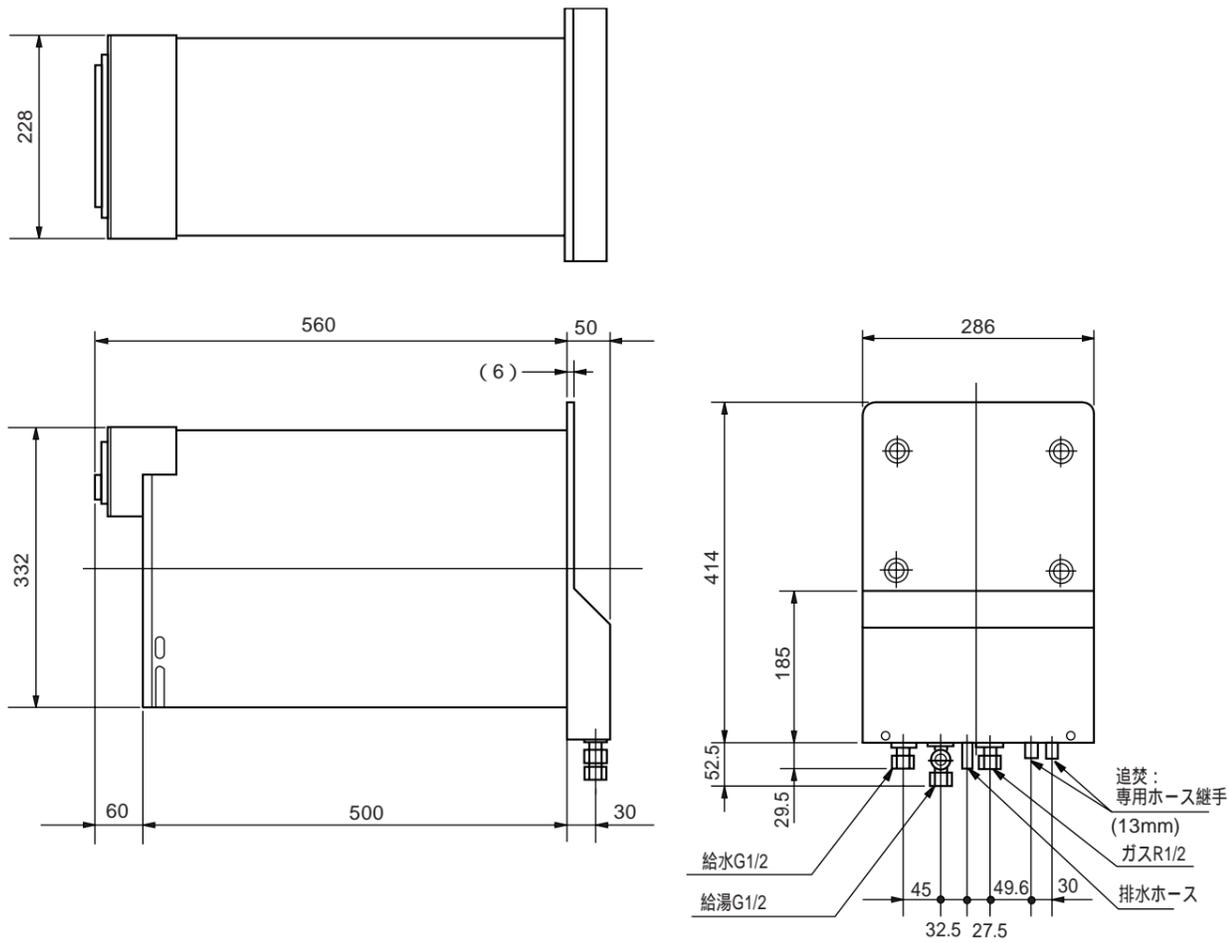
このときポンプの音が大きくなりますが、ふる循環ホース内の水を排水していますので、異常ではありません。

4. 電源プラグをコンセントから抜く。

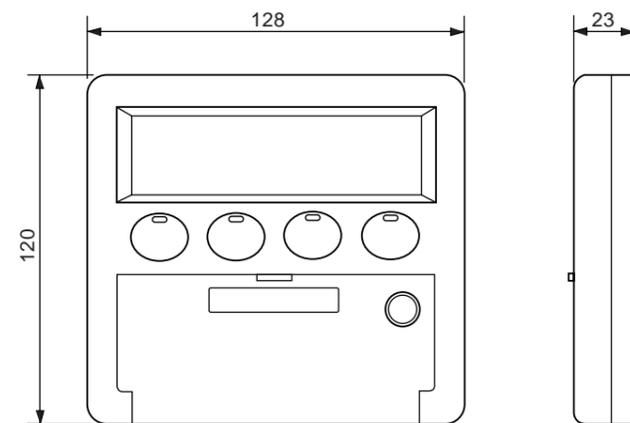


寸法図

本体（この図は131-7009型です）



リモコン（浴室、台所共通）



仕様

仕様表

項目		仕様	
外形寸法（本体）		幅286×高さ467×奥行610mm	
		幅286×高さ467×奥行560mm	1
		幅286×高さ467×奥行896～1010mm（調整範囲）	
壁貫通部寸法		幅228×高さ332×奥行560mm	
		幅228×高さ332×奥行510mm	1
		幅228×高さ332×奥行845～958mm（調整範囲）	
重量（本体）		25 kg	24 kg 1 32 kg 2
接続寸法	ガス	R1/2（TU接続）	
	給水・給湯	G1/2	
	ふろ循環	13mm循環ホース継手	
標準ガス消費量	ガス質	13A（kcal/h）	LP（kg/h）
	給湯	最大 34.9（30,000）	34.9（2.50）
kW	最小	5.8（5,000）	5.8（0.42）
	ふろ	9.9（8,500）	9.9（0.71）
	同時（最大）	34.9（30,000）	43.0（3.08）
電気定格	電源	AC100V（50/60Hz）	
	消費電力	使用最大	13A：120/130W、LP：130/140W
	凍結予防用ヒータ	64W	
最低作動水圧	19.6kPa（0.2kgf/cm ² ）		
使用水圧	53.9（動水圧）～784kPa（0.55～8kgf/cm ² ）		
制御システム	給湯	フィードフォワード+フィードバック式ガス比例制御	
	ふろ	温度設定沸上げ（37～48℃）、（給湯比例制御追従式）	
	ファン制御	DCファンによる回転数制御	
排気温度	260以下		
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ・立消え安全装置 ・過熱防止装置 ・ファン回転検知 ・沸騰防止装置 ・漏電ブレーカー ・過圧逃し弁 ・残火安全装置 ・凍結予防用ヒータ 		

1は131-7019型の寸法、重量です。
2は131-7029型の寸法、重量です。

出湯能力

*印は換算相当出湯能力を示す。

ガス種	標準号数 （号）	温度上昇と標準出湯量（ℓ/分）					
		水温+15	水温+25	水温+30	水温+40	水温+50	
13A、12A、LP	能力大	16	*26.7	*16.0	13.3	10.0	8.0
	能力小	2.5	4.1	2.5	-	-	-

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて



メモ欄として活用してください。

アフターサービスのお申し込み

サービス（点検・修理）を依頼される前に

「故障かな？と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品名 パックイン
2. 大阪ガス商品コード . . . 器具の全面右上部に貼付してあります
3. 故障、異常の現象、エラーコード できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

例)

(N) 131-7009
大阪ガス株式会社

転居される場合

ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について

保証期間中の故障修理について

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。

保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年間です。